

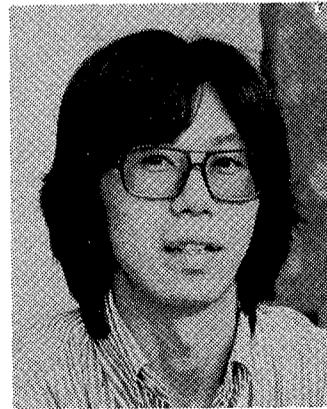
広報



1日・
15日
毎月2回発行
7月1日
昭和59年(1984) No.715
編集
越谷市役所企画部広報広聴課



心の憩いとやすらぎを 駅前に花いっぱい



ヤングがもっと地域に目を向けるような街に、と永野さん

思えば、私の家の周辺も、私が小

さいころは家がまだだったのに、
今では住宅がびっしり建ち並びました。
た。40年代のミニ宅地開発がスプロ
ール化を招いたと聞いたことがあります。

かかわらず、人口だけがどんどん増
えてしまったために、道路の整備が
計画的な街づくりが進まないにも
思えます。これが、私が小

6月17日(日)、北越谷自治会連合会では、北越谷駅西口花壇に
サルビア1900本とマリーゴールド3500本を植えました。

「地域の環境美化に一役買ってくれれば」と、参加した35名の方
は意欲的。サルビアとマリーゴールドのかれんな花は、これから2
か月間、市民の目を楽しませてくれるでしょう(苗は、越谷市観光
協会から提供されたものです)。

越谷、思いつくままに

蒲生西町一の8の72

なが
永野 隆男
(28歳)

越谷とわたし

142 ◇◇

「越谷とわたし」は、あなたのコーナーです。みなさんの投稿をお待ちしています。字数は900字程度です。広報広聴課

今月は市税第2期の
納期です。納期限は、
7月31日(火)です。
納期限内納付にご協
力ください。

とにかく、さまざま面で、場所
というかスペースというものの必要
性を痛感するのです。もっと、若者
が地域で楽しむことができないもの
だらうかと……。駅ビルやファッ
ショッピングセンターでも、都内へ出が
けてしまふことが多いようです。私
も先日、ヒリー・ジョエルのコンサ
ートを聴くため、武道館へ足を延
ばしました。

今は、コンサート等のイベントを
増やしたりできたらと思います。
妹がお花を育っています。人だと
つて、花を愛する心、ゆとりが大切
だと感じます。ギスギスした社会で
すが、市内がもっと緑化され花の多
いまちになれば、それが一眼の清涼
剤になるだらうと考えています。

*子どもの飛び出しに注意して走ろう



安らぎと潤いのあるまちづくり

アメリカ・タウン計画に着手

自然との調和がまず第一

今こそ快適環境を

廣々とした空間、さわやかな澄んだ空気、清らかな川の流れ、豊かな緑、小動物に触れ合える身近な自然——このような良好な環境は、わたしたちに心理的な安らぎを与え、身体の疲労をやわらげてくれる。同時に、豊かな情報をおぼくんでくれます。しかし、こうした豊かな環境資源は、都市化が進むにつれ急速に失われてきました。

たしかに、わたしたちの生活は確かに便利になりましたが、その反面、自然や緑、まちの清潔さなどが次第に失われ、人々の心のうるおぐすら失われつあります。

このような状況から、いまわたしたちの間には、身近な環境をより快適なものにしようとする願いが高まっています。

快適な環境と同じような意味で、アメリカという言葉がよく使われます。アメリカとは、もともと「適切なものが適切な所に存在すること」から生じるもので、「心地良き」という言葉で「快適さの質」「住んでいるまち

の魅力や、金銭や数量では表わせない価値」を意味します。わたしたちを取りまく自然や施設、歴史などが互いに他を活かし合うようにバランスがとれ、人間との間に調和が保たれている場合に、生じる好ましい感覚・効果をアメリカといいます。

健康で文化的な生活を実現するためには、アメリカは欠かせない重要なものなのです。

手だけを模索する

越谷市では、快適な環境づくりをめざして、これまでさまざまな取り組みをしてきました。快適さの妨げとなる公害の防止はもちろんのこと、駅前の放置自転車や不法広告物の撤去などもその一つ。もう一步進んで、自ら快適さをつくり出すためには、どのようなことをすればいいのかと、試行錯誤を重ねてきました。

全国では20の市町村が、アメリカ・タウン計画の「モデル市」に指定され、快適環境の具体策づくりに取り組みました。東京近郊では、横浜市と越谷市がこの指定を受けて、計画づくりに乗り出したところです。

越谷市では、数々の河川をはじめとする豊かな自然を保全しながら、都市機能との調和を保った快適環境づくりを目指した計画にしたいと考えています。

越谷市は、市役所の仕事のすべてがアメリカの仕事なのです。越谷市に住んで良かったなあ、越谷に生まれて良かったなあ、と思えるよ

うな、だれもが「わがまち」「あるまじ」と呼べるまちをつくることが、まちづくりの原点なのですから。

昨年、越谷市は市制25周年にあつて、文化都市宣言をしました。昔からあるいいものを残しながら、そ

国の天然記念物で、越谷周辺にだけ生息するシラコバト。毎年秋になると、遠くシベリアの方から渡つてくる何万羽という鴨——古利根川や元荒川、葛西用水がゆつたりと流れ、四季おりおりの草花が咲き誇るわたしたちのまちを、子どもたちや孫たちに引き継いでいかなければならぬ。だれもが、「これがわたしの住んでいるまちです」と誇らしげに言えるようにならねばなりません。

あなたと市政を結ぶかけ橋…広報こしがや

差別のない明るい社会づくりのために

社会の中にある差別

▷▷ 6

ある土曜日、電車に乗ったときのことです。仲の良さそうな母子が乗っていました。おかあさんたちは二つの座席にまかいあって楽しそうにおしゃべりをしていました。横の座席と前の座席では、四、五歳の子どもたちが、我がもの顔ではしゃいでいました。

次の駅で乗ったおはあさんがあいだに座席にすわろうとしました。その時、おかあさんのひとりが子どもたち

「ほら、席をとられちゃうよ。」

子どもたちはついせんに席にありました。見るとひとりの子は、座席いっぱいに横たわっているのです。それを見て、おかあさんは何ともいわずに、また、満足そうにおしゃべりの仲間に加わりました。おはあさんめいわくそうな顔。それよりもこうして育てられた子どもたちには、いったいどんな大人になるのでしょうか。

また、次のようなことがあります。

夏の暑い日、五歳ぐらいの男の子連れた母親が道路で汗だくになり

水道工事をしている人を見て恵子に

「こんなに生懸命になつて仕事をしてくるおじさんたちがいるから、家でもじや口をひねるだけで水が使えるし、おもろにも入れるんですよ。」

と言つて通りました。

この二つのことがらは、子どもたちの成長にどれほど影響を与えるか

はかりません。

皆様方におかれまして、なんどぞ理解を賜りますようお願い申し上げます。

問合せ 越谷税務署

65-0111

差別意識をもつて生まれてくる者はいません。それらは、親をはじめ社会の大人们によつてつけられたものです。そして、人権問題は、親の偏見や差別意識によりさまざまな問題になつてゐることが非常に多くあります。

私たちも、同和問題(部落差別)は、部落に生まれた」というだけではなく、就職や結婚の時、差別される深刻な問題がおきています。

文化もアメリカも、わたしたちの生活すべての面を含むものです。

都市計画や土木工事、教育や福祉なども担当する市役所のある部局が相互に関連し合つてゐるものな

です。アメリカ・タウン計画のアメニティも、わたしたち

の生活すべての面を含むものです。

宣言の趣旨です。

文化もアメリカも、わたしたち

の生活すべての面を含むものです。

都市計画や土木工事、教育や福祉なども担当する市役所のある部局が相互に関連し合つてゐるものな

です。アメニティ・タウン計画

は、このように、行政のあらゆる分野にわたり総合的に検討を加えな

がら、その実現をはかっていくこと

が、重要なところです。

ムを開催したり、環境づくりの具体

的な提言や実践例を募集するため

「市民環境賞」を制定したのも、快

適環境づくりの一環でした。

まだ、あらゆる角度から環境の保

健倣で文化的な生活を実現するた

めには、アメニティは欠かせない重

要なものなのです。

環境庁からの助成

の選定もその一つでした。快適な環

境とは何か、市長をはじめ多くの皆

さんと知恵を寄せあつたシンボジウ

ムを開催したり、環境づくりの具体

的な提言や実践例を募集するため

「市民環境賞」を制定したのも、快

適環境づくりの一環でした。

まだ、あらゆる角度から環境の保

健倣で文化的な生活を実現するた

めには、アメニティは欠かせない重

要のものです。

環境は総合行政

の選定もその一つでした。快適な環

境とは何か、市長をはじめ多くの皆

さんと知恵を寄せあつたシンボジウ

ムを開催したり、環境づくりの具体

的な提言や実践例を募集するため

「市民環境賞」を制定したのも、快

適環境づくりの一環でした。

まだ、あらゆる角度から環境の保

健倣で文化的な生活を実現するた

めには、アメニティは欠かせない重

要のものです。

環境は総合行政

の選定もその一つでした。快適な環

境とは何か、市長をはじめ多くの皆

さんと知恵を寄せあつたシンボジウ

ムを開催したり、環境づくりの具体

的な提言や実践例を募集するため

「市民環境賞」を制定したのも、快

適環境づくりの一環でした。

まだ、あらゆる角度から環境の保

健倣で文化的な生活を実現するた

めには、アメニティは欠かせない重

要のものです。

環境は総合行政

の選定もその一つでした。快適な環

境とは何か、市長をはじめ多くの皆

さんと知恵を寄せあつたシンボジウ

ムを開催したり、環境づくりの具体

的な提言や実践例を募集するため

「市民環境賞」を制定したのも、快

適環境づくりの一環でした。

まだ、あらゆる角度から環境の保

健倣で文化的な生活を実現するた

めには、アメニティは欠かせない重

要のものです。

環境は総合行政

の選定もその一つでした。快適な環

境とは何か、市長をはじめ多くの皆

さんと知恵を寄せあつたシンボジウ

ムを開催したり、環境づくりの具体

的な提言や実践例を募集するため

「市民環境賞」を制定したのも、快

適環境づくりの一環でした。

まだ、あらゆる角度から環境の保

健倣で文化的な生活を実現するた

めには、アメニティは欠かせない重

要のものです。

環境は総合行政

の選定もその一つでした。快適な環

境とは何か、市長をはじめ多くの皆

さんと知恵を寄せあつたシンボジウ

ムを開催したり、環境づくりの具体

的な提言や実践例を募集するため

「市民環境賞」を制定したのも、快

適環境づくりの一環でした。

まだ、あらゆる角度から環境の保

健倣で文化的な生活を実現するた

めには、アメニティは欠かせない重

要のものです。

環境は総合行政

の選定もその一つでした。快適な環

境とは何か、市長をはじめ多くの皆

さんと知恵を寄せあつたシンボジウ

ムを開催したり、環境づくりの具体

的な提言や実践例を募集するため

「市民環境賞」を制定したのも、快

適環境づくりの一環でした。

まだ、あらゆる角度から環境の保

健倣で文化的な生活を実現するた

めには、アメニティは欠かせない重

要のものです。

環境は総合行政

の選定もその一つでした。快適な環

境とは何か、市長をはじめ多くの皆

さんと知恵を寄せあつたシンボジウ

ムを開催したり、環境づくりの具体

的な提言や実践例を募集するため

子どもはなぜ非行に走るのか

年々増加の一途をたどっている少年非行。ことに夏休みは、子どもたちのリズムが乱れ、気持もゆるみがちで、非行が起こりやすい季節です。家庭内暴力はじめ、校内暴力・家出・万引き・シンナー遊び・覚せい剤の常用・暴走族・売春など、青少年の非行や問題行動といつても、その内容はさまざまです。子どもたちは、なぜこのような行動に走るのでしょうか。今号は、いま親が、先生が、そして社会の人々が心を痛めているこの問題の原因をさぐりたいと思います。

青少年非行は戦後第三のピーク期を迎えており、最近は、粗暴化、低年齢化の傾向を示すなど、憂慮される状況があります。

非行防止のためには、家庭、学校によじまらず、社会のあり方をも問い合わせが必要がありますが、その時間待てないほど緊急かつ深刻な問題となっています。

あたたかい家庭であること

子どもが心身ともに健全に成長していくためには、周囲の人たちに認められ愛されられるという、愛と安心感が必要だとわれています。そういう場は、家庭においてほかにはないといえるでしょう。

とくに乳幼児の時期は、愛と安らぎに満たされることによって、子どもも、自分をとり巻く人たちに信頼感をもち、情緒的にも安定してきます。これが将来、道徳性をもたらす基礎となるといわれています。

つまり、あなたがいる親の愛情と平和な家庭に支えられてこそ、子どもの心は健全に発達するのです。

このよだれ腺を築くためには、まず、第一に夫婦が円満で、互いに深い愛情と信頼で結ばれていた方がいいのです。また娘・姉の間も、あたたかい想いややり心で結ばれていないければなりません。また妹・姉の間も、ばらばらの気持ちで泣き出します。幼い心が傷つけられているのです。親は、このよだれ腺をもつて、子どもの動きを十分理解しなくてはならないと思いません。

青少年の非行・問題行動などについての合同相談

青少年の非行は依然として増加傾向にあるとのふれあいを通して、生涯自己を磨き、品性を高めていくことが大切です。

青少年の非行は依然として増加傾向にあるとのふれあいを通して、生涯自己を磨き、品性を高めていくことが大切です。

自立へのステップ

仮に、わが子がたばこを吸っていたとき、親としてどう対処するのがよいですか。

その場合に問題になるのは、親自身の人生の価値基準が正しく、しっかりと守られているかどうかということです。それが不安定であると、子どもに協したり、時代の風潮に流されたりして、結局、子どもにも尊敬されなくなってしまいます。

子どもは、いつも親をはじめ大人たちの姿を見ています。しかし、親が正しくあるまい、見習わせていくことが大切なことです。

▼ひとつ間違つた非行に陥る

非行に走る少年たちのうちの2人

はなく、人間性の向上を生きる目標

に向かっています。

これは、単に知識や教養を身につければいいというものではありません。

「おお親の指図を受ける年ではない」といいます。

親としてどう対処するのがよ

いのか、親としてどう対処するのがよ

いのか、親としてどう対処するのがよ

いのか、親としてどう対処するのがよ

いのか、親としてどう対処するのがよ

いのか、親としてどう対処するのがよ

いのか、親としてどう対処するのがよ

価値基準をもつ

子どもたちは、まだ何が正しく何が悪いのか、ものの善悪の判断がついていません。したがって親はおもに、人間としてどのように考へ行動していくのが正しいのか、どんなことがいけないのか、身をもつて示すとともに、子どもにわかりやすく指導していくのが正しかったからです。

その場合に問題になるのは、親

の人生の価値基準が正しく、し

かりしているかどうかとい

うです。それが不安定であると、子ども

に對して自信がもてず、子どもと妥

協したり、時代の風潮に流されたり

して、結果、子どもにも尊敬されな

くなってしまいます。

子どもは、いつも親をはじめ大人

たちの姿を見ています。しかし、

親が正しくあるまい、見習わせて

いことが大切なことです。

親が正しくあるまい、見習わせて

いことが大切なことです。

親が正しくあるまい、見習わせて

親が人生の正しい

親が人生の正しい価値基準をもつ

ことによる正しい価値基準をもつ

運動実施委員会

「社会を明るくする運動」は、青

少年の非行防止と、あやまって罪を犯した人たちの更生に理解を深め、市民一人一人が力をあわせて明るく住みよい地域社会を築こうという運動です。

青少年の非行は年々低年齢化し、家庭や学校での暴力事件が多発する

とともに、シンナー・覚せい剤などの薬物の乱用や、暴走族の凶悪化など深刻な問題となっています。

これらの問題に対処するため、

「社会を明るくする運動」実施委員会は、市民のみなさんと一緒に

運動実施委員会は、市民のみなさんと一緒に

第二反抗期

「おお親の指図を受ける年ではない」とい

うことは、親としてどう対処する

ことがあります。

未成年者の喫煙は禁じられています。

講演と映画

「社会を明るくする運動」は、青

少年の非行防止と、あやまって罪を犯した人たちの更生に理解を深め、市民一人一人が力をあわせて明るく住みよい地域社会を築こうという運動です。

青少年の非行は年々低年齢化し、家庭や学校での暴力事件が多発する

とともに、シンナー・覚せい剤などの薬物の乱用や、暴走族の凶悪化など深刻な問題となっています。

これらの問題に対処するため、

「社会を明るくする運動」実施委員会は、市民のみなさんと一緒に

運動実施委員会は、市民のみなさんと一緒に

講演と映画

「社会を明るくする運動」は、青

少年の非行防止と、あやまって罪を犯した人たちの更生に理解を深め、市民一人一人が力をあわせて明るく住みよい地域社会を築こうとい

う運動です。

青少年の非行は年々低年齢化し、家庭や学校での暴力事件が多発する

とともに、シンナー・覚せい剤などの薬物の乱用や、暴走族の凶悪化など深刻な問題となっています。

これらの問題に対処するため、

「社会を明るくする運動」実施委員会は、市民のみなさんと一緒に

運動実施委員会は、市民のみなさんと一緒に

運動実施委員会は、市民のみなさんと一緒に

運動実施委員会は、市民のみなさんと一緒に

運動実施委員会は、市民のみなさんと一緒に

運動実施委員会は、市民のみなさんと一緒に

運動実施委員会は、市民のみなさんと一緒に

運動実施委員会は、市民のみなさんと一緒に

運動実施委員会は、市民のみなさんと一緒に

運動実施委員会は、市民のみなさんと一緒に

講演と映画

「社会を明るくする運動」は、青

少年の非行防止と、あやまって罪を犯した人たちの更生に理解を深め、市民一人一人が力をあわせて明るく住みよい地域社会を築こうとい

う運動です。

青少年の非行は年々低年齢化し、家庭や学校での暴力事件が多発する

とともに、シンナー・覚せい剤などの薬物の乱用や、暴走族の凶悪化など深刻な問題となっています。

これらの問題に対処するため、

「社会を明るくする運動」実施委員会は、市民のみなさんと一緒に

運動実施委員会は、市民のみなさんと一緒に

運動実施委員会は、市民のみなさんと一緒に

運動実施委員会は、市民のみなさんと一緒に

運動実施委員会は、市民のみなさんと一緒に

運動実施委員会は、市民のみなさんと一緒に

運動実施委員会は、市民のみなさんと一緒に

運動実施委員会は、市民のみなさんと一緒に

運動実施委員会は、市民のみなさんと一緒に

運動実施委員会は、市民のみなさんと一緒に

講演と映画

「社会を明るくする運動」は、青

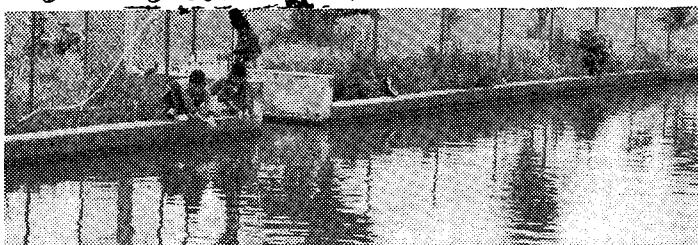
少年の非行防止と、あやまって罪を犯した人たちの更生に理解を深め、市民一人一人が力をあわせて明るく住みよい地域社会を築こうとい

う運動です。

青少年の非行は年々低年齢化し、家庭や学校での暴力事件が多発する

とともに、シンナー・覚せい剤などの

水の事故から子どもを守ろう



市内の各河川、用水路に水が入り子供たちにとっては、日一日と水に親しむ機会が多くなってきました。毎年この時期になると、水による事故が多発し、尊い命が犠牲になってしまいます。どうしたら水難事故を防げるか、皆さんといっしょに考えてみましょう。

●県内で44件発生
昨年の県内での水難事故は44件発生し、このうち中学生以下は、20人

で、幼稚14人が含まれています。また市内では、5件の水難事故が発生し、うち4人が犠牲となってしましました。

●今年2件発生
今年になって市内では、6月15日現在までに2件発生し、うち1件は尊い命が失われました。もう1件は6歳の男の子が、道路でキャッチボールをしているうち、ボールが付近の用水に落ちたためそれを拾おうとして足をすべらせ用水に落ちてしましました。幸い付近の人助けられ、一命をとりとめましたが、周囲にだれもいなかつたら大きな事故になっていたかも知れません。

事故発生場所をみると、河川が最も多く、次いで用水路、池、沼など

埼玉県では、6月1日から8月31日

にかけて、市町村ごとに管内の警察署、教育委員会、消防署が主体となり「水難事故防止強化月間」に指定

し、常時危険箇所をパトロールして

水難事故防止にあたっています。

また越谷市消防署は、水難事故まで提示します。この懸垂幕には次

中をのぞき込んでバランスを失って

てみましょう。

楽しい花火

正しく使つて

夏の風物詩も火事のもと

けやき荘より

お知らせのページ

けやき荘のページ

<h3

